

3:40 【主】はモーセに言われた。「イスラエルの子らの、一か月以上の男子の長子をすべて登録し、その名を数えよ。

3:41 わたしは【主】である。あなたはイスラエルの子らのうちのすべての長子の代わりとしてレビ人を、またイスラエルの子らの家畜のうちのすべての初子の代わりとしてレビ人の家畜を取り、わたしのものにしなさい。」

3:42 モーセは【主】が彼に命じられたとおりに、イスラエルの子らのうちのすべての長子を登録した。

3:43 その登録による、名を数えられた、一か月以上のすべての男子の長子は、二万二千二百七十三人であった。

3:44 【主】はモーセに告げられた。

3:45 「イスラエルの子らのすべての長子の代わりにレビ人を、また彼らの家畜の代わりにレビ人の家畜を取れ。レビ人はわたしのものでなければならない。わたしは【主】である。

3:46 レビ人の数より多い、二百七十三人のイスラエルの子らの長子の贖いの代金として、

3:47 一人当たり五シェケルを取りなさい。これを、一シェケル二十ゲラの、聖所のシェケルで取らなければならない。

3:48 そしてこの代金を、多い分の者たちの贖いの代金として、アロンとその子らに渡しなさい。」

3:49 モーセは、レビ人によって贖われた者より多い分の者たちから、贖いの代金を取った。

3:50 すなわち、イスラエルの子らの長子から、聖所のシェケルで千三百六十五シェケルの代金を取ったのである。

3:51 モーセは【主】の命により、この贖いの

代金をアロンとその子らに渡した。【主】がモーセに命じられたとおりである

初子というのは、生まれた時点ではまだひとり子です。つまりひとり子を差し出さなさいということですが、これは神のひとり子イエス様が、人間の救いのために差し出されたことと関係があります。出エジプトでの子羊の犠牲も、またレビ人による「初子の代わり」も、イエス様のひな型なのです。

ここで大切なことは、数をきっちりと合わせて代わりとしたことです。イエス様の身代わりは、だいたいこれくらい的人数…として概数であがなったのではなく、1人1人がしっかりと把握されて、大切にされたということです。また、そうであるなら、贖われる人と贖われない人というのは明確に区別されるということです。

すなわち救いには中間点はないのです。愛する人の救いのために、アバウトな考えや適当な期待感ではなく、明確な危機感を持ちつつも主のあわれみに期待しつつ、できる限りのことをしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

